

取扱説明書

日立電気洗濯乾燥機用

お洗濯キャップ

MO-F103

このたびはお洗濯キャップをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。


使用上のご注意

- お洗濯キャップは、洗濯の「柔らか」「槽洗淨」コース、洗▶乾、乾燥、「スチームアイロン」運転では使用しないでください。
脱水の温風で変形してしまう恐れや、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまいます。

【洗濯物の準備】

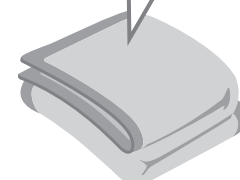
洗濯できるもの・できないもの

■洗濯できる毛布（4.7kg以下）



-  (弱い手洗いが良い)表示の毛布
- アクリル、またはポリエステルマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.7kg以下）

ご注意 ●純毛の毛布や、電気毛布、ロングパイル(毛足10mm以上)の毛布は洗わないでください。

4.7kg以下



■洗濯できる掛け布団


- 詰め物材質が化繊（ポリエステル）の布団
掛け布団（シングルサイズ 幅150cm×長さ210cm以下、詰め物の重さ1kg以下のもの）
- 詰め物材質が羽毛の掛け布団で  (洗濯機による洗濯ができる) または、
 (弱い手洗いが良い)表示のもの
(例：肌掛け布団 詰め物の重さ0.5kgなど)

ご注意 ●詰め物材質が羊毛のものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。
●ほかの洗濯物は追加しないでください。

1kg以下



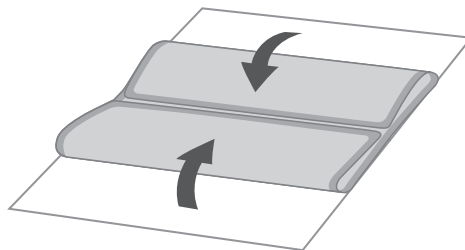
■その他洗濯できるもの

-  (弱い手洗いが良い)表示のベッドパッド、カーテン：4.7kg以下

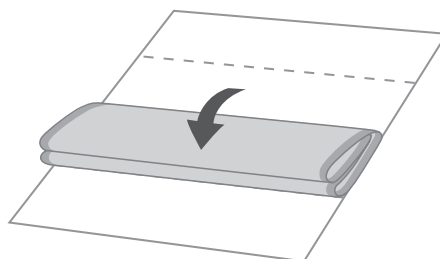
【洗濯物の準備】(つづき)

毛布の入れかた

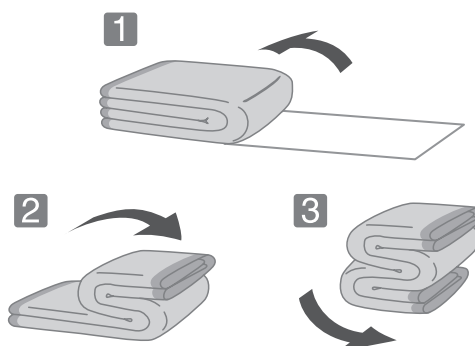
1 両端を内側に折る



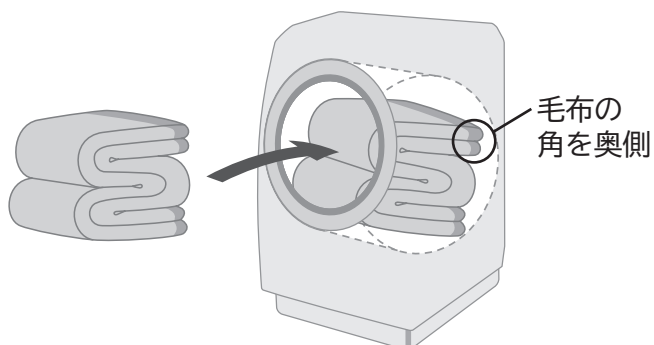
2 さらに2つに折る



3 びょうぶ折り(4つ折り)にする



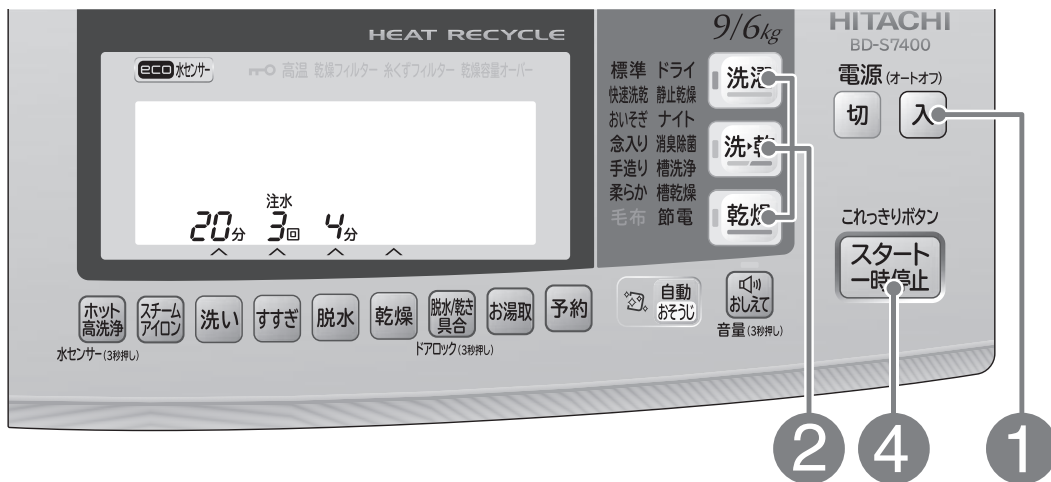
4 毛布の角を奥側にして、ドラムに入れる



ご注意 ●毛布の角を奥側にしないと、運転中に毛布を傷める恐れがあります。

毛布コースで洗濯／洗濯～乾燥／乾燥する

使いかた



「洗▶乾」「乾燥」運転の場合は、お洗濯キャップを使用しないでください。

「洗濯」「洗▶乾」運転の場合

準備 水栓を開け、洗濯物を入れ

「洗濯」運転(3kg以上)の場合は、お洗濯キャップを取り付ける

1 ドアを閉め、
入 を押し、電源を入れる

2 運転したいいずれかのボタンを押し、
洗濯 洗・乾 「毛布」コースを選ぶ
■風呂水を使用するときは **お湯取** を押し、お湯取運転したい行程を表示させる

3 液体洗剤、ソフト仕上げ剤を入れる
(粉末洗剤は使用しないでください)

4 **スタート 一時停止** を押し

液体洗剤 24mL(水30Lあたり20mLのもの)
30mL(水30Lあたり25mLのもの)
ソフト仕上げ剤 9mL(水30Lあたり7mLのもの)
13mL(水30Lあたり10mLのもの)
(詳細は洗剤・ソフト仕上げ剤の容器の説明書きをご覧ください)

「乾燥」運転の場合

準備 水栓を開け、洗濯物を入れ

1 ドアを閉め、
入 を押し、電源を入れる

2 **乾燥** を押し、「毛布」コースを選ぶ

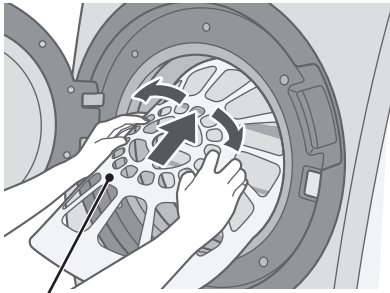
3 洗剤、漂白剤、ソフト仕上げ剤は使用しない

4 **スタート 一時停止** を押し

●「洗▶乾」「乾燥」運転終了後、乾きにムラがあるようなときは、毛布を折り返し、乾燥の「毛布」コースで再度乾燥させてください。

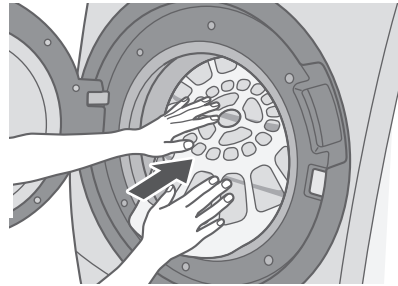
お洗濯キャップの取り付けかた(「洗濯」運転時のみ)

- 1 お洗濯キャップを曲げ、上側から挿入する

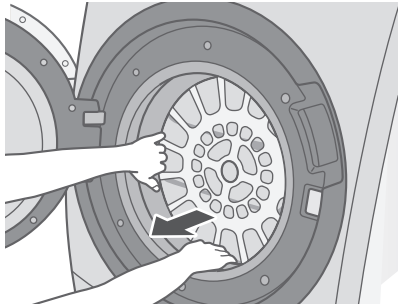


お洗濯キャップ

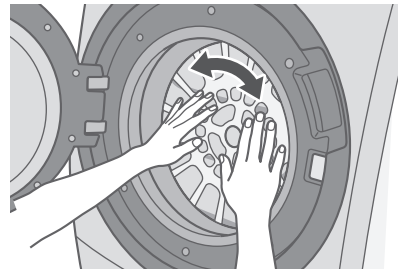
- 2 図のように、お洗濯キャップの下側を押し込む



- 3 お洗濯キャップの外側を手前に引き、ドラムの内側にあてる



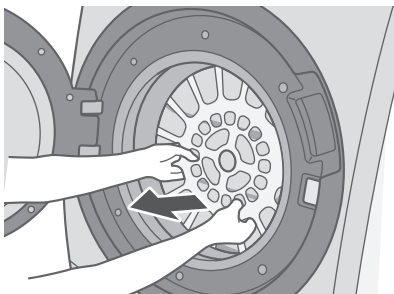
- 4 すべてドラムに入っているか確認する
●お洗濯キャップに手をかけて、ドラムがスムーズに動くことを確認する



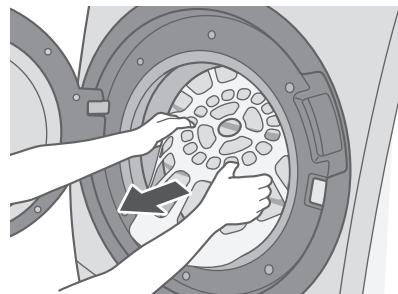
洗濯が終わったら

お洗濯キャップの取り外しかた

- 1 お洗濯キャップの下側を図のように持って、手前に引き上げる

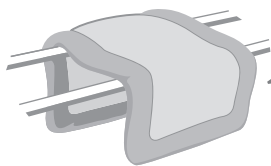


- 2 下側が外れたら、手前に引き出す



干しかた

- 風通しのよいところで自然乾燥させます。(掛け布団の場合は、晴天の日で約4時間かかります)



□形に干すと、乾きが早くなります

- 掛け布団は時々裏返すと乾燥がより効果的です。また、時々詰め物をつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
- 羽毛の掛け布団は、詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
- 毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

◎日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12